

脱ステロイド後 17年 苦しんだ 慢性の重症アトピー性皮膚炎が 3か月で改善

39歳 女性 入院期間 H25.6.18～9.18

生後間もなくアトピー性皮膚炎が発症。四肢屈曲部に湿疹、非ステロイド外用治療開始、8歳から全身のカサツキが生じステロイド外用治療を始めた。

中学からは顔にも生じるようになり高校ではさらに悪化、手の湿疹はステロイドでも効果がなくなり慢性化。短大では顔の炎症が悪化。

22歳ステロイドが効果がなくなり、不安になり脱ステを行ったがすさまじい皮膚炎が年単位で続いた。ユウカリローション・漢方・温泉療法・光線療法・西式健康法等に取り組んだが大きな改善はなく経過し9年間の引きこもり生活を余儀なくされた。

30代から社会復帰したが慢性の皮膚炎は続き、特に顔からの滲出液は持続していた。

2012年3月から皮膚炎が一段と悪化し37℃代の微熱、発疹・痒み・痒みによる不眠・イライラが持続するようになった。

16年ぶりにステロイド軟膏、内服を使用し一時的には改善したがやめると滲出液が一層吹き出した。顔中汁だらけになりながらネットで検索中に当院を知り入院。

経過・コメント

マラセチア感染による脂漏性皮膚炎を伴う 顔の滲出変化を中心にした重症の慢性アトピー性皮膚炎の患者さんです。

顔はお湯に浸ける事ができにくい分どうしても改善が遅れがちになる部分です。顔から頸部にかけてのリンパ組織の増生が強くが盛り上がっており炎症の強さを物語っています。当然 ステロイドも抗生剤も 抗真菌剤も使用しませんがバチルス入浴療法は見事にマラセチア感染を抑制しアトピー性皮膚炎を改善させています。本当に長い間苦しんできた患者さんはバチルス入浴療法に感動し心から喜んでくれました。

	基準値範囲	2013/6/19	2013/7/18	2013/8/19	2013/9/10
TARC	450 以下	2522	1341 ↓	440 ↓	788
LDH	120～245	264	226 ↓	184 ↓	180 ↓
IgE	170 以下	12400	16204	13122	12303
好酸球	7%以下	42.0	24 ↓	13.1 ↓	15.0
POEM 自覚症	最重症 20～28	25	19 ↓	14 ↓	12 ↓



